

## 杖道称号「教士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟

### 1. 申込対象者

杖道錬士七段受有者で、受有後2年以上を経過（平成27年5月31日以前に取得）した者。

### 2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の教士受審申請書（自筆、顔写真貼付、パソコン不可）を各支部事務局に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（5月3日）とする。

### 3. 申込締切 各支部が定めた期日

### 4. 都道府県剣連の推薦

都道府県剣連会長は、申込者が称号・段級位審査規則第10条第2項の付与基準に該当し、かつ、称号・段位審査実施要領の「教士を受審しようとする者の備えるべき要件」(①～③)を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。

### 5. 審査方法

都道府県剣連会長から推薦のあった候補者について、杖道(解説)、試合・審判、指導法、称号・段位、健康・安全および杖道に関する小論文の筆記試験を行い、試験結果を審査会に提出し合否を決定する。

- (1) 筆記試験日時 平成29年4月8日(土)  
受付開始・終了 12時30分～午後1時  
筆記試験開始・終了 午後1時30分～午後4時30分(予定)
- (2) 筆記試験会場 東京都・兵庫県・福岡県の3か所で実施。

各都道府県剣連は、受審者の試験会場希望地を候補者推薦書の「教士試験会場欄」に記載すること。

#### 東京都会場

弘済会館4階

(東京都千代田区麴町5丁目1番地) 電話 03-5276-0333

#### 交通機関

- JR総武線、中央線「四ツ谷駅」下車 麴町出口から徒歩5分
- 地下丸ノ内線、南北線「四ツ谷駅」下車 1番出口から徒歩5分
- 地下有楽町線「麴町駅」下車 2番出口から徒歩5分
- バス 新宿西口～三宅坂、晴海埠頭～四谷「麴町5丁目」下車 徒歩1分

**兵庫県会場**

神戸市勤労会館  
(神戸市中央区雲井通5丁目1-2) 電話 078-232-1881

## 交通機関

- 市営地下鉄・JR・阪急・阪神・ポートライナー 各「三宮駅」から東へ徒歩5分

**福岡県会場**

TKPガーデンシティ博多(アネックス)  
(福岡市博多区博多駅前4-11-18 ホテルサンライン福岡博多駅前2F)  
電話 092-433-0520

## 交通機関

- JR・市営地下鉄「博多駅」博多口から徒歩5分
- 西鉄バス 駅前4丁目バス停前

※ 試験会場に、車での来場は一切禁止とします。

- (3) 試験方法については、後日、各都道府県剣連に通知と全剣連月刊「剣窓」平成29年3月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に掲載する。
- (4) 試験会場への携行品 ・筆記具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)
- (5) 審査会期日 平成29年5月3日(祝)

6. 審査料 教士号 22,000円

## 7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」平成29年6月号および全剣連ホームページ(<http://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

## 8. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報(登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は、全日本剣道連盟および地方代表団体(各都道府県剣道連盟)が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがある。更に、杖道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

## 9. 注意事項

受審者が不正行為をした場合、試験官はその行為を確認のうえ、試験会場より退場してもらうことがある。また、解答を教えた者、見せた者も同様とする。

【1 時限目】 試験時間 13:30～14:20 (50分)

1 杖道(解説) 全日本剣道連盟杖道(解説)について出題

(1) 1本目から12本目までの[要領]

(2) 礼法ならびに構えについて、3問中2問を出題

① 礼法 ② 杖道の姿勢と杖の構え方および納め方

③ 太刀の構え方および解き方

\* 参考資料 [全日本剣道連盟杖道(解説)] (平成 20 年 6 月 1 日発行)

(注)・参考資料は、全日本剣道連盟発行のもの、以下同じ。

2 試合・審判 下記の3問中2問を出題

(1) 「試合における勝敗の決定」

(2) 「審判方法」

(3) 「審判の処置」

\* 参考資料 [杖道試合・審判規則、同細則] (平成 24 年 4 月 1 日施行)

【2 時限目】 試験時間 14:30～15:20 (50分)

1 指導法 下記の2問中1問を出題

(1) 「剣道の理念」「剣道修練の心構え」「剣道指導の心構え」

\* 参考資料 [剣道講習会資料] (平成 24 年 4 月 1 日発行)

[剣道指導要領]

[全日本剣道連盟杖道(解説)] (平成 20 年 6 月 1 日発行)

(2) 基本の指導上の留意点

\* 参考資料 [全日本剣道連盟杖道(解説)] (平成 20 年 6 月 1 日発行)

2 称号・段位 下記の4問中2問を出題

(1) 「審査員の責務」

(2) 「教士の付与基準」

(3) 「教士を受審しようとする者の備えるべき要件」

(4) 「段位審査の方法」

\* 参考資料 [称号・段級位審査規則、同細則、称号・段位審査実施要領]

(平成 28 年 4 月 1 日施行)

3 健康・安全 下記の2問中1問を出題

(1) アキレス腱断裂の処置と予防

(2) 熱中症の種類、症状および予防対策

\* 参考資料 [剣道医学Q&A(第3版)] (平成 26 年 12 月 25 日発行)

[剣道社会体育教本「改訂版」] (平成 21 年 4 月 1 日発行)

[剣道講習会資料] (平成 24 年 4 月 1 日発行)

【3 時限目】 試験時間 15:30～16:30 (60分)

小論文 下記の2問中1問を出題(約700字程度)

(1) 称号「教士」としての指導と今後の杖道普及への具体的な取り組み

(2) 杖道「教士」としてのはたすべき役割